

家庭教育部

紹介書籍・DVD・セミナー vol.5



日本同盟基督教団家庭教育部

〈1〉 書籍紹介	2
【1】「家族に『神のかたち』を取り戻そう」	2
【2】「見つけた子育ての喜び」	9
【3】「神を知る365日」 for Guys, for Girls	11
〈2〉 セミナー紹介	12
【1】「いのちと性のサポートミッションセミナー」	12

書籍紹介

【1】「家族に『神のかたち』を取り戻そう」

著者：関 真士

対象：子育て中の方、未信者が入ってもOK、小グループ
方法：毎回1章ずつ読み、内容について分かち合う
回数：1回1章で39回

1. この本を読むにあたって

著者：関 真士

1964年生まれ。19歳の時にコックの仕事で渡米し、現地の日本人教会で救われる。東京聖書学院卒業。日本で12年間牧会した後、2005年よりホノルル・キリスト教会の牧師に就任し、現在に至る。趣味は、料理と茶道。愛する妻と4人の子供がいる。

出版社：地引網出版

出版年：2016年 9月

本の要点：著者は、「子育て、夫婦」というテーマで牧師の立場から本書を書いています。カウンセラーや心理学者ではない。なので、本書は一人の生身の人間として、子育てで悩み、夫婦の危機を通り、その中で聖書から学んだことを分かち合うものです。著者自身、クリスチャンホームに生まれて両親の離婚を経験したが、親となり、自らの欠けに気づき、失敗をし、それでも神の恵みによって祝福された家族関係が与えられました。

子育ては、まさに「自分育て」であり、子どもを通して親もまた育てられ、成長していきます。誰も完成された親はなく、「親」であることを捨てない、諦めない、親であり続けることで子どもと共に成長していくものです。

人の人格が「神のかたち」であり、その神のかたちを夫婦関係に、子どもとの関係に取り戻していくとき、愛そのものである神からの愛と祝福が家族に注がれると説いています。

2. 本の内容

第1部 子育ての大前提

第1章 子どもは神からの賜物

第2章 愛され、愛し、愛のモデル

第3章 存在の価値

第2部 子育ての基本的理解

- 第1章 人格とは「神のかたち」
- 第2章 両親の務め
- 第3章 人格の健全な成長
- 第4章 人格的関係の回復と成長

第3部 子育ての実際

- 第1章 絶対的信頼
- 第2章 子育てには「時」がある
- 第3章 胎児を祝福する
- 第4章 自律性を養う
- 第5章 主体性を養う
- 第6章 嵐がやってきた
- 第7章 権威をもって子どもを治める
- 第8章 子どもが恐れを取り除く
- 第9章 いたずら大歓迎
- 第10章 パフォーマンスではなく、ありのまま
- 第11章 従順な子どもに育てる
- 第12章 躰について
- 第13章 子どもを懲らしめる
- 第14章 兄弟関係を考える
- 第15章 性を尊ぶ
- 第16章 思春期は神の機会
- 第17章 お父さん、立ち上がろう
- 第18章 お母さん、大丈夫
- 第19章 子どもを救いに導く
- 第20章 世にも偉大なミニストリー

第4部 夫婦の癒しと回復を求めて

- 第1章 夫婦とは？
- 第2章 人類史上初めての夫婦けんか
- 第3章 父と母を離れる
- 第4章 愛し方を学ぶ
- 第5章 愛され上手、愛し上手
- 第6章 良い夫婦関係 その1 「相手さえ」
- 第7章 良い夫婦関係 その2 「自分さえ」
- 第8章 良い夫婦関係 その3 「夫婦の共依存」

- 第9章 良い夫婦関係 その4 「人格の尊重」
- 第10章 夫婦の癒しと回復 その1 「男女の違いと心の傷」
- 第11章 夫婦の癒しと回復 その2 「夫婦のあかし」
- 第12章 夫婦の癒しと回復 その3 「妻のあかし」

3. 確認コーナー

第1部 子育ての大前提

第1章 子どもは神からの賜物

子どもに愛されているという確信を与えていますか。
その確信を与えるためにどのような努力をしていますか。

第2章 愛され、愛し、愛のモデル

私はどこで「愛し方」を学んだでしょうか。
子どもにはどのように「愛し方」を教えれば良いでしょうか。

第3章 存在の価値

あなたの価値はどれほどなのでしょう。
子どもにどのように自分の価値を認識させることが出来るでしょうか。

第2部 子育ての基本的理解

第1章 人格とは「神のかたち」

あなたの子育ての目標は何ですか。
子どもの自立した人格を育てるために、具体的にどのような努力が必要だ
と思いますか。

第2章 両親の務め

あなたの夫婦関係は、子どもに神のかたちを表していますか。
夫婦関係を通して神のかたちを体験させるために、どのような努力が必要だ
と思いますか。

第3章 人格の健全な成長

「成熟した人格」をあなたの言葉で定義してみてください。
今のあなたの子どもの人格の成長のために、何が重要だと思えますか。

第4章 人格的関係の回復と成長

あなたとあなたの子どもの「言葉の関係」はいかがでしょう。
「言葉の関係」を成長させるために、どういふ努力が必要だと思いますか。

第3部 子育ての実際

第1章 絶対的信頼

今、あなたの子どもの何歳ですか。子どもの心のキャンパスにはどんな言葉が書き込まれていますか。絶対的信頼を与えるために、あなたは何をすべきだと思いますか。

第2章 子育てには「時」がある

あなたの子どもの「時があった」と感じたことがありますか。
あなたの子どもの成長の段階をスキップしてしまったことはありますか。

第3章 胎児を祝福する

胎児が一人の人間であると感じたことがありますか。どういふ時ですか。
胎児の時、どのように祝福し、どのように聞かれたか分かち合ひましょう。

第4章 自律性を養う

人のために、迷惑にならないために、子どもを我慢させることについてどう思いますか。
いわゆる「良い子」とはどういふ子だと思いますか。あなたの子どもの本当の意味で「良い子：人を考える子」に育てるためには何が必要だと思いますか。

第5章 主体性を養う

あなたの子どもの「与えることを喜ぶ子」に育てるためには、今、何が必要だと思いますか。間違った方法は何だったと思いますか。

第6章 嵐がやってきた

あなたの子どものどういふ反抗期を送りましたか。（もしくは、今、どういふ反抗期を過ごしていますか。）
反抗期と成長はどういふ関係にあると思いますか。

第7章 権威をもって子どもを治める

あなたの子どもの人格的表現は「反抗」でしょうか。「成長」でしょうか。

「権威の放棄、権威の乱用」の例があったか分かち合いましょう。

第8章 子どもが恐れを取り除く

あなたの子どもは何を恐れていますか。

その恐れを取り除くために何が必要だと思いますか。

第9章 いたずら大歓迎

あなたの子どもはどのような「いたずら」しますか。それにどう反応しますか。

子どもの人格の成長のためにどのような「リミット」を設ければ良いと思いますか。

第10章 パフォーマンスではなく、ありのまま

あなたの子どもは人の注目を得るためにどのようなネガティブは行動をしますか。

どのように「ラブ・タンク」を満たせば良いか考えてみましょう。

第11章 従順な子どもに育てる

「従順な子どもに育てる」ことと、ただ恐れていることとはどう違うと思いますか。

子どもを従わせるために行った「失敗例」があれば分かち合いましょう。

第12章 躰しつけについて

躰しつけに置いて、あなたが大事にしていることは何ですか。

第13章 子どもを懲らしめる

懲らしめることと怒ることとはどう違うと思いますか。

あなたはどのように子どもを懲らしめていますか。分かち合いましょう。

第14章 兄弟関係を考える

子どもの兄弟関係はどうですか。どうすれば兄弟関係を通して社会性を育てることができると思いますか。

第15章 性を尊ぶ

あなたの子どもにはどのように「性」を教えていますか。
子どもたちは、どのような性の問題に直面すると思いますか。対策として
何が必要だと思いますか。

第16章 思春期は神の機会

子どもの思春期を親であるあなたはどう迎えていますか。
親はどういう姿勢が必要だと思いますか。

第17章 お父さん、立ち上がろう

現代の父親像の特徴について分かち合いましょう。
神様が願っておられる父親像とは何でしょうか。

第18章 お母さん、大丈夫

現代の母親像の特徴について分かち合いましょう。
神様が願っておられる母親像とは何でしょうか。

第19章 子どもを救いに導く

あなたは自分の子どもを救いに導くために、どういう教育(努力)をしていますか。
子どもを救いに導くために何を注意すべきだと思いますか。

第20章 世にも偉大なミニストリー

「子育ては神の働き(ミニストリー)だ」とはどういう意味ですか。
子育てというミニストリーのために今あなたに最も必要なことは何でしょう
うか。

第4部 夫婦の癒しと回復を求めて

第1章 夫婦とは？

夫婦関係と子育てとはどういう関係にあると思いますか。
あなたの夫婦関係が保たれるためには何が必要だと思いますか。

第2章 人類史上初めての夫婦けんか

あなたは「夫婦けんか」を通してどのように成長してきましたか。

第3章 父と母を離れる

あなたにとって、父と母から離れられない部分がありますか。どうすれば、
父と母から離れることができると思いますか。

第4章 愛し方を学ぶ

あなたの「五つの愛の言葉」の順位はどうでしょうか。
あなたのパートナーはどういう順序だと思いますか。

第5章 愛され上手、愛し上手

あなたはどのような愛の的を持っていますか。どのように的を増やせると思いますか。
あなたのパートナーの愛の的は何でしょうか。どうすれば、その的に当てることができるでしょうか。

第6章 良い夫婦関係 その1 「相手さえ」

良い夫婦関係のために「相手が変わってほしい」と思ったことがありますか。

第7章 良い夫婦関係 その2 「自分さえ」

良い夫婦関係の回復のために自分が変わるべき点は何でしょうか。

第8章 良い夫婦関係 その3 「夫婦の共依存」

あなたの夫婦関係において共依存的な部分がありますか。どのように共依存関係を打ち破ることができると思いますか。

第9章 良い夫婦関係 その4 「人格の尊重」

あなたの夫婦関係において「明らかな支配関係」もしくは、「隠れた支配関係」がありますか。どのように人格的な関係を築くことができると思いますか。

第10章 夫婦の癒しと回復 その1 「男女の違いと心の傷」

男女の違いによって心の傷を受けたことがありますか。どのように理解し受け入れることができると思いますか。

第11章 夫婦の癒しと回復 その2 「夫婦のあかし」

第12章 夫婦の癒しと回復 その3 「妻のあかし」

【2】「見つけた子育ての喜び」

著者：バーバラ・バウマン、龍野さおり 共著

- ・対象：主に子育て中の母親
- ・方法：小グループでの学び、ディスカッション
- ・回数：10回

1. この本を読むにあたって

著者：バーバラ・バウマン

1957年 米国カリフォルニア州生まれ。1981年 Willamette 大学（ミュージックセラピー専攻）卒業。1982年 結婚。1988年 夫ゲアリーと共にライフミニストリーズの宣教師として来日。1996年11月より埼玉県で子育てクラスを開始。

龍野さおり

1970年 山形県生まれ。1992年 日本外語専門学校英語通訳ガイド科卒業。1996年 バーバラさんの子育てクラス運営に携わる。

出版社：ファミリー・フォーカス出版

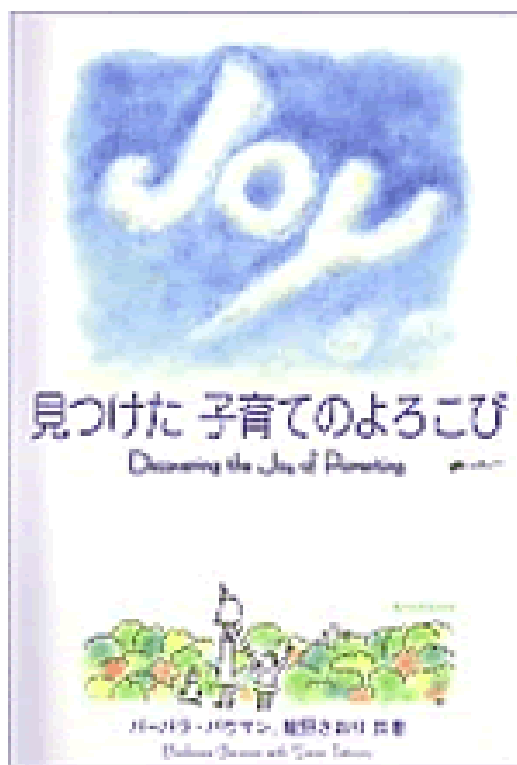
出版年：2004年

本の要点：この本は、「本書の使い方」

に書かれていますように、<子育ての責任を自分一人に負わされていると感じている、日本の母親のために>書かれています。子育て中の母親たちが集まり、小グループでテキストを読み、話し合っていくために用いやすい本であると思います。

またページを開くと左のページは英語で、右のページは日本語で書かれていますので英語のクラスのテキストとして用いることもできると思います。

各章ごと、明確な主題と聖書の原則に沿ったテキストが書かれています。それを読んだ後に話し合うポイントも書かれていますので、リーダーや導き手を決めて、一章ずつ学んでいくことができます。



各章のテーマは以下の通りです。

Lesson 1

<子どもの価値>：主題「子どもはそれぞれ、ユニークで特別な存在です」

Lesson 2

<子どもを「尊敬」する>：主題「子どもは人間として尊敬に値する存在です」

Lesson 3

<しつけの重要性～基本的な原則～>：主題「愛に基づいて子どもをしつける時、子どもは従順と尊敬を学びます。この二つは健全な成長のために大切です」

Lesson 4

<しつけの重要性～効果的な方法～>：主題「効果的なしつけの方法は、子どもの年齢や個性、子どもを取り巻く環境などの要因によって、多様に変化する」

Lesson 5

<怒りへの対処>：主題「子どもの本当の必要に目を向け、日常生活のよくない影響をコントロールすると、激しく怒って反応する頻度を減らすことが出来る」

Lesson 6

<コミュニケーション～子どもの協力を得る～>：主題「否定的にではなく、肯定的な言い方で話すほうが、子どもはより協力的になる」

Lesson 7

<コミュニケーション～子どもの気持ちを理解する～>：主題「自分の気持ちをきちんと聞かれ、理解してもらっていると思っている子どもは、物事に肯定的に反応し、どんな問題にも対処することが出来る傾向にある」

Lesson 8

<コミュニケーション～「ほめる」力～>：主題「子どもは、神様に与えられたユニークな才能と能力を持った価値ある存在として、ほめられ、励ましてもらう必要がある」

Lesson 9

<子どもの自立を助けるために>：主題「知恵によって訓練され、選択する自由を与えられ、良い結果や悪い結果を体験している子どもは、賢明な判断をする術を知った責任ある大人に成長するようになる」

Lesson 10

<思春期の子育てに取り組む パート1 特徴と変化 パート2 子どもの態度と感情への応答>：主題「思春期の子どもは、健全な態度をもって思春期という段階を切り抜けるために、親からの肯定的な指導と共に、たくさんの深い愛と理解と励ましが必要である」

【3】「神を知る365日」 for Guys, for Girls

著者:文;キャロリン・ラーセン 翻訳;ブルキ羊子

- ・対象:小学生低学年~中学生まで
- ・方法:ディボーション用に
- ・回数:毎日

1. この本を読むにあたって

著者:文;キャロリン・ラーセン 翻訳;ブルキ羊子
イラスト;ヤギヌマモモコ

出版社:いのちのことば社

出版年:2016年

本の要点: 作者は、夫と3人の子どもの母です。女性と子どものミニストーリーに重荷をもって、講演活動を行っています。

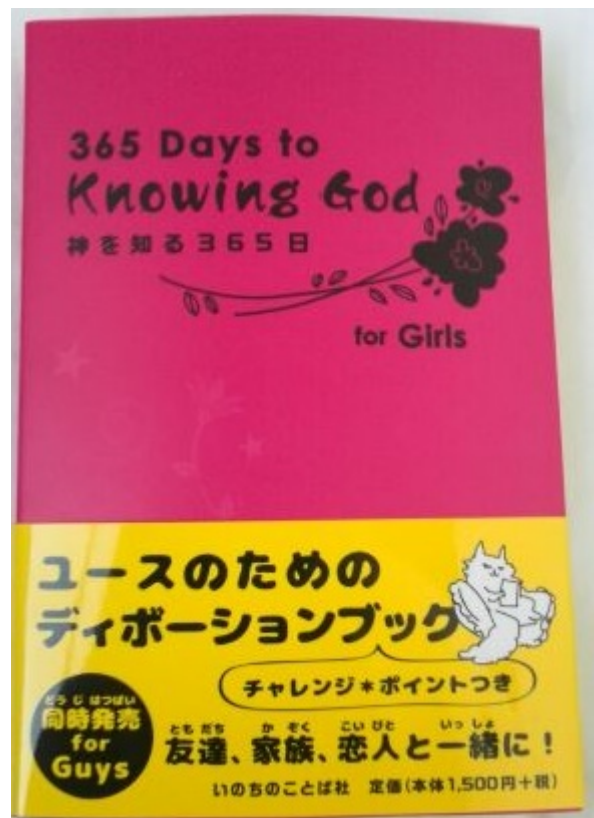
旧約聖書と新約聖書のみことばを入り混ぜて読むことができます。

「神を知る」というテーマに従って、力強いメッセージが短くまとめられています。

「チャレンジ・ポイント」は、みことばを実行するためのヒントになります。

男の子用、女の子用、があります。

ペーパーバック版で持ちやすく、字体も読みやすいので、子どもたちにディボーションの習慣をつけさせるのに適しています。



《2》 セミナー紹介

【1】「いのちと性のサポートミッションセミナー」

1. 沿革

- ・神戸マナ助産院長の永原郁子氏を中心に、第6回日本伝道会議のプレ集会から生まれた「いのちと性の大切さを考える会」から取り組みを開始したセミナーです。
- ・セミナー受講者は「いのちと性のサポートミッション受講修了証」を受け取り、地域の保育園・幼稚園・小・中・高校の性教育インストラクターとして入っていくことができます。

2. 「いのちと性のサポートミッションセミナー」の目的

- ・現在の子どもたちが抱える「いのちと性」の問題を認識すると共に、クリスチャンとしてできること、ノウハウ、教材を提供します。
- ・学んだことを自分のものとしてまとめ、発表することで、実践につなげます。
- ・自分の家庭で、教会で、また、置かれている地域の保育園・幼稚園・小・中・高校で、性教育やいじめ対策教育に関わることができる「受講修了証」を発行します。

3. 「いのちと性のサポートミッションセミナー」の内容

セミナー1（一泊二日）

- ①神がお創りになったいのちと性
- ②自己肯定感
- ③受胎と胎児の成長の神秘
- ④第二性徴
- ⑤DV
- ⑥人工妊娠中絶、性感染症
- ⑥性意識の混乱（ジェンダー）
- ⑧愛すること・男女交際・セックス
- ⑨生きることの意味
- ⑩講演デモンストレーション（小学校・中学校・高校・保護者向け）

セミナー 2（数か月後に一泊二日）

- ①教会で教える聖書的根拠
- ②性意識の混乱と問題点
- ③予期せぬ妊娠を考える
- ④性被害を受けた人への対応
- ⑤教会への導き方
- ⑥各自の実習発表

4. 考察

（1）活用にあたっての利点

- ① クリスチャンの助産師から、いのちの誕生についての解説を聞くことができるので、神様の創造のみわざと愛を再認識できます。
- ② 小学生・中学生・高校生・保護者向けと、各年代や状況に合わせてのアプローチやふさわしい内容を学ぶことができます。
- ③ セミナーⅠとセミナーⅡの間に、提供された資料・教材を用いて、自分の実習プログラムを作成します。このため、実践的な学びをすることができます。
- ④ 自分の家庭ですぐに実践できますし、教会で行うこともできます。
また、「受講修了証」が発行されますので、それをもって、地域の保護者会や保育園・幼稚園・小・中・高校の性教育インストラクターとして、アピールし、講演することができます。一か所できれば、口コミで広がっていき、講演依頼されるようになるそうです。

（2）活用にあたっての課題・問題点

- ①実際に、地域でどのくらい受け入れてくれるのかは未知数です。
PTAなどの関わりがあると入りやすいようです。
- ②特に、公立の教育機関では、単発の授業の関わりで終わってしまうこともあると思います。クリスチャンであることを自己紹介で伝えておく必要があります。

5. 連絡先

いのちと性のサポートミッション

事務局：マナ助産院 〒651-1123 兵庫県神戸市北区ひよどり台 2-30-6

TEL : 078-742-3474

<http://support-mission.bible-time.jp/training/>